

インターンシップの心得 10カ条

A01 真っ先に自分が折れる

学ばせて頂いているという自覚を持つことで、会社の方々からの良心のリターンが返ってくる。インターン先はバイトで経験することができる飲食業、インターンとして入ったといえど、多少なりのバイト感覚が抜けきらないのは事実であり、そこから社員の方々やバイトの方々への対応も軽くなってしまいう傾向がある。(仲が良くなればいいが…)それが社員の方々からの反感を買うことになる。

インターンとして入ったからには、たとえ今までバイトとして経験してきた業種であっても、侮ってはいけない。その会社の単なる労働者ではなく、会社を作っていく社員の一人だと自覚を持つべきである。

A02 自発的に行動する

インターン志願者がよく「社長に憧れた」、「社長のように働きたい」などという事を言いながら会社に行き、実際は業務ばかりやらされ、想像していたものとは違い、辞めていくということを書く。そんなウマイ話、あるはずがない?会社側もヤル気のある学生を低賃金で雇えるから利用しているということに嘘はない。自分で行動しなくては何も学べず、何も返ってこないのは当然だと考えるべきだ。

A03 腐ってはいけない

インターンを始めた際の目標を常に持ち続ける事が大事である。限られた時間・決められたお金で忙しい社長と一緒に働くという事は、はたから見れば単なる低賃金労働者(特にバイトでも経験できる飲食業なら尚更=バイトで経験できない飲食業なら別であるが)としか見えない。しかし、始まってしまったからには仕方がない。この半年という時間は絶対にインターンに費やすことになった。ならば、この半年はただの低賃金労働者ではなく、むしろ吸収しつつやるぐらいの心意気でないといけない。

ある人の8~9月までの口癖は「振り返った時に自慢できる今にしたいんです。このまま低賃金労働者として終わるわけにはいかないですよ!」である。他の人になんと云われようと常に最初の気持ちを続けることが大事だと考える。

A04 人を頼ろう

悩んでいる時や、迷っていることがあれば、思いつめず人に相談の方が良い。得にインターンの先輩がいる事は大きく、同じ道を辿ってきているので最大の理解者だと思う。

A05 無知は恥ではない

よく知らない事を隠して「へえ〜、なるほど」と流す人がいる。その知ったかぶりが更なる知ったかをする原因にもなる。知らないことは恥じる事なのか?学生なら尚更の事。一度聞いたもの・間違えた事は、その場で覚え、次、間違わなければ良いだけだと思う。何度も同じ質問を繰り返す人もいるかもしれないが、知らない事を煽る人がいるとすれば、その方が滑稽である。言葉を借りると非常にナンセンス。

無知の知などというインターンの本筋とは逸脱したような考えは捨て、無知のまままで終わらせるのは今後の為にも辞めるべきである。

A06 経験は行動から得られる

ビジネスについて考えるだけで、行動してこなかった人は、特に実感することができるだろう。インターンを始める前の事前課題で提案したことがいかに空を切ったものだったのか。それが自分の成長を実感するところでもある。

A07 メモする習慣をつける

自分の興味のない事であっても、まずはメモを取る。これは学ばせて頂いている立場として当然だと思う。知識は蓄えて損はない。自分の生きる武器にもなる。

A08 軸をひとつに絞ろう

社長のように自分の仕事のプライオリティが高い場合は別であるが学生なら当然、学業・友人関係。就活もあると思う。そんな中で社長と同じように色々な仕事を掛け持ち、あらゆる時間を優先的にインターンの仕事につき込むことは可能だろうか?それは不可能だ。

ただでさえ、自分の始めた事業でもなく、さらには社長と同等の感性・情熱を持っているわけでもないというのに。

「就活が…」「他の用事が…」というのなら最初から多くの事に手を出すべきではない。また、インターンを通して何かを掴み、結果を得たいなら、『一つに絞る』事がベストだと思う。最初から多くに手を出そうとすると全てが曖昧な状態で終わってしまう。しかし、それは全て経営者として大切な“マルチタスク能力”を養うためであり、その真意を理解していただきたい。

A09 素直になろう

会社と自分とのやり方・方向性が違うと思った時、その方向が自分のやりたい事ではない時、続けられることはできない上、楽しくない。

インターンへのプライオリティが低くなり、他の時間に費やす時間が多くなった時は、自分自身が別の向きに方向転換すると良いと思う。インターンシップを辞めれば良いと思う。

A10 ビジネスマナーを厳守

インターンをさせて頂いているという立場をわきまえ、挨拶・時間前集合は当たり前のことだと考える。むしろ、インターン生が元気を与える存在になれるよう心掛けるべきだ。

そこに変なプライドなど必要ない。